

熊女の先輩よりメッセージ

社会で活躍する卒業生

前滋賀県知事
嘉田由紀子さん
(昭和43年度卒業)



本校卒業後、京都大学農学部などで学び、学者としてキャリアを積んだ後、「もったいない」をキャッチフレーズに平成18年7月に滋賀県知事になりました。本校では生徒会長をつとめました。

第136回芥川賞受賞
青山七恵さん
(平成13年度卒業)



平成17年『窓の灯』で「文藝賞」受賞、平成19年『ひとり日和』で「芥川賞」受賞、平成21年には『かけら』で「川端康成文学賞」を受賞しました。本校にて、図書委員との交流会も開かれました。



岡部 文子
(平成21年度卒業)

秩父市立秩父第二中学校
埼玉医科大学医学部医学科
埼玉医科大学総合医療センター(整形外科)

現在、私は整形外科医として働いております。高校3年の頃からスポーツドクターに憧れて医師を志しました。ここまで来られたのも熊女での高校生活があったからだと思っています。勉強だけではなく、全てに全力で取り組む熊女生。皆が皆とても生き生きしており、熊谷の暑さは自分達が原因なんじゃないかと思えるぐらい活気に満ち溢れていました。辛いことも楽しいことも共に分かち合え、本音で語り合える仲間にも巡り会えました。「本気ならできないことはない。」陸上部の恩師の言葉です。その言葉を胸に高校時代、国際大会や全国駅伝にも出場させていただきました。今まで選手として多くの方に支えてもらった分、今度は自分が人を支えられるようになりたい。そう思い整形外科の道へ進みました。職場では自分の無力さに憤りを感じる事が多々あります。それでも、患者さんの良くなっていく姿や笑顔を見ると、それだけでこの職業につけて良かったと思えます。知識だけでなく手術など技術も求められる整形外科。日々向上心を持ち前進していく姿勢は高校時代に身に付いたと思っています。出る杭は打たれないのが熊女生です。パワフルに、貪欲に、自分らしく。失敗を恐れず何事にも挑戦して下さい！本気ならできないことはありません！応援しています！



小川 良美
(平成22年度卒業)

上尾市立大石中学校
明治大学商学部商学科
日本航空株式会社

「出る杭は打たれない」という当時の生徒会長の言葉を学校説明会で聞いた瞬間から絶対に熊女に入りたい！と強く思ったことを今でも覚えています。念願の熊女生活は想像以上に素晴らしいものでした。勉強、陸上部での部活動、行事など、全てに仲間と共に真剣に取り組み、楽しみながら全力で走り切った3年間でした。何事に対しても前向きな気持ちで全力投球することの素晴らしさに気づくことができ、その熊女での学びが後の大学生活や現在の仕事の礎となっているように感じます。

私は現在、日本航空株式会社の客室乗務員として国内線国際線共に乗務しています。お客さまからありがとうと言ってもらえることは勿論、国を超えてさまざまな人や場所、自分の知らなかった世界に触れることなどを通して日々成長できる客室乗務員という仕事が私は大好きです。特別な環境の機内では急病人が発生したり予期せぬことが起きたりします。そのような時は、熊女で培った“忌憚なく良いことは良いと意見を交わし合い、仲間と協力して乗り越える”という教えによる精神や経験が仕事でも生かされていることを実感します。受験勉強や部活動で競い合い励まし合いながら高校時代を過ごした友人は社会人になった今でも切磋琢磨し合える大切な存在です。これから入学する皆さんも尊敬できる仲間と日々囲まれて、笑顔溢れる楽しい熊女生活を過ごしてください。

